地域コミュニティを含む多機関・多職種連携の強化

うすきプラットフォーム

臼杵市福祉課／地域力創生課／臼杵市社会福祉協議会

地域共生社会に関する取組

高齢者　子ども　若者　地域住民
障害者　生活困窮者　認知症の方　その他

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	34,895人
	高齢化率（R7.1月時点）	42.4%
	要介護認定率（R7.1月時点）	18.4%
	取組の予算規模（年間）	-

詳細はHPから

うすきプラットフォーム
https://usuki-shakyo.jp/publics/index/112/

取組概要

- 多機関・多職種連携のさらなる強化をめざす「うすきプラットフォーム」の場に、地域コミュニティの発展的な持続をめざす「地域振興協議会（地域運営組織：RMO）」を接続し、多様な経路から「どこに相談しても、適切な支援につながる環境」を整え、人口減少が進んでも、安心して心豊かに暮らせる地域づくりをテーマに、地域包括ケアシステムの深化や地域共生社会の実現に向けた取り組み等を展開している。

背景・きっかけ

- 人口の減少や年齢別人口割合の変化等から、これまでの分野ごとの施策を延伸していくだけでは対応が困難と考え、地域の実情の変化を見据えつつ、地域コミュニティを含む幅広い関係者とともに、市域全体の課題を共有し、解決を図ることをめざしている。

取組の経緯

- 包括的な支援体制の整備を展開するうえで、臼杵市としてのめざす方向性を庁内外に示し、地域コミュニティを含む多機関・多職種が参画し、協働していくための機運醸成が必要と考えた。各分野がめざしている方向性（既存の計画等）や取り組んでいる施策や事業を整理しながら、臼杵市の最高規範である自治基本条例をベースとした「めざす将来像」を共有し、チームビルドに取り組んだ。





うすきプラットフォームの様子

取組詳細

- **取組内容**
  - ✓ 重層的支援体制整備事業等を所管する福祉課、地域コミュニティ支援や多機関・多職種連携を所管する地域力創生課を中心に庁内連携を強化するために、関係各課の課長代理級職員を主な対象として参加を呼び掛けてきた。市域における課題を分野を問わず共有することを目的としており、多様な参加者が当事者意識を持てるようなテーマ設定を行い、ワークショップ形式で実施している。
  - ✓ 令和４年度からの３年間、支援機関と庁内各課での方向性の共有や機運醸成を行ってきた。４年目となった令和７年度は、地域振興協議会の集落支援員にも参加を呼び掛けて実施している。
- **実施体制**
  - ✓ 実施主体：臼杵市福祉課（役割：重層的支援体制整備事業の統括）
  - ✓ 連携先：医療介護福祉における支援機関や団体、地域振興協議会など（役割：プラットフォームへの参加、得られた情報の周知等）
- **財源**
  - ✓ 令和６年度以降は、重層的支援体制整備事業費の一部として計上
    ※多機関協働事業の委託費（臼杵市社会福祉協議会受託）における人件費の一部として実施

成果（参加者の声）

- 実際のケース対応において、プラットフォームで見知った機関の人と連携しやすくなった。
- これまでは、あまり話をすることがなかった市役所の職員や担当課、支援機関と知り合い、様々な意見を聞くことができた。
- 分野外の情報が得られ、視野が広がった。
- 行政職員の異動に伴い、年々「分野を超えた連携の重要性」を理解してる職員が庁内各課に広がっている。

今後の展望

- 続けていくことで広がっていく、人材育成にもなる取り組みと考えており、継続実施しながら、参加する分野等を拡張していきたい。

うすきプラットフォーム
臼杵市福祉課／地域力創生課／臼杵市社会福祉協議会

取組のポイント

- **各回において地域の課題となるテーマを設定して議論を行っている**
- 毎回のテーマを「地域の課題としての〇〇〇〇」と設定し、地域の身近な窓口となり得る活動拠点を持つ地域運営組織との連携をさらに深めることで、多様な相談経路等の拡大を図っている。